

『学習集団の論争的考察』

正誤表

お詫びして訂正をお願いいたします。

行数	誤	正
p.20、8行目	ネウロン網	ネウロン綱
p.22、引用文献⑩	人間佐と人格の理論	人間性と人格の理論
p.39、10行目	C27.3 そのなのぜったいに	C27.3 そんなのぜったいにない
p.60、11～12行目	表明することかである	表明することである
p.73、4行目	=民主的徳徳の原論を	=民主的徳徳を
p.74、9行目	若干批判検討の	若干批判検討の
p.81、2行目	しかしました。	しかしました、(句点を読点に)
p.81、28行目	いくのであるから。	いくのであるから、(句点を読点に)
p.98、参考文献⑤	学習集団をめぐる閣題	学習集団をめぐる問題
p.101、10行目	なされるのだといつても	指導はなされるのだといつても
p.124、23行目	明治24年(1981)	明治24年(1891)
p.133、14行目	授業における集団思考	授業における集団思考
p.140、10行目	杜稜小学校、杜稜	立杜陵小学校、杜陵
p.145、18行目	大きな課題となります。 ³⁵⁾	35) 堀尾輝久・竹内常一「対談 / 子どもの権利条約と教育自治」『高校生活指導』No.113 (明治図書 1993 夏)、明治図書。 (※注が脱落していました)
p.154、注の 25)	杜稜小学校の	杜陵小学校の
p.162、28行目	知的操作か内言化される	知的操作が内言化される
p.186、11行目	その性格特徴としては	その性格特徴としては
p.190、6行目	と規程している。	と規定している。
p.213、19行目	学校生活	学校生活
p.216、1行目	大恐怖	大恐慌
p.216、2行目	昭和恐怖	昭和恐慌